

## カルシウム補給剤

# グリセロリン酸カルシウム「イワキ」

## Calcium Glycerophosphate

承認番号	15100AMZ00913
薬価収載	1978年2月
販売開始	1978年2月
再評価結果	1986年12月

使用期限：外箱に記載

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 高カルシウム血症の患者[症状を悪化させることがある。]
2. 腎結石のある患者[症状を悪化させることがある。]
3. 重篤な腎不全のある患者[腎不全を悪化させることがある。]

### 【組成・性状】

本品はグリセロリン酸カルシウムの原末で、乾燥したものは定量するとき、グリセロリン酸カルシウム98.0%以上を含む。

### 【効能・効果】

下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給くる病、骨軟化症  
妊娠・授乳時におけるカルシウム補給

### 【用法・用量】

通常成人1日1～5gを3回に分割経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者[高カルシウム血症があらわれやすい。]
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者[強心配糖体の作用を増強するおそれがある。]
- (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

#### 2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

#### 3. 相互作用

テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害することがあるので、同時に服用させないこと。

#### 4. 副作用

種類\頻度	5%以上又は頻度不明	0.1%未満
消化器	悪心、便秘	胃酸の反動性分泌等
その他	長期投与により、高カルシウム血症及び結石症	

#### 5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

### 【薬効薬理】

1. カルシウム欠乏により神経系及び筋肉系の被刺激性ないし興奮性が高まり、疲労しやすくなり横紋筋の痙攣が起こるが、カルシウムは鎮静・痙攣の軽減作用がある。
2. カルシウムは骨などの硬組織に沈着作用があり、骨形成時に効果を現わす。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：グリセロリン酸カルシウム  
(Calcium Glycerophosphate)

分子式： $C_3H_7CaO_6P$

性状：本品は白色の粉末で、においはなく、味はわずかに苦い。  
本品は水にやや溶けにくく、エタノールにほとんど溶けない。  
本品はやや吸湿性である。

### 【包装】

500g

### ※【文献請求先】

岩城製薬株式会社 学術部  
〒103-8434 東京都中央区日本橋小網町19-8  
TEL 03-3668-1574  
FAX 03-3668-5282